

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2024年5月24日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	CRESS FEED 株式会社
所 在 地	〒111-0052 東京都台東区柳橋 2-19-6 柳橋ファーストビル
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 津田 真二
担 当 者 連 絡 先	電 話：03-3861-2602 (担当 早川哲也)
	メー ル：hayakawa-t@cress-f.com
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	https://cress-f.com

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は1958年に創業したエンジニアリング会社であり、2023年に社名を「CRESS FEED 株式会社」に変更しました。 事業内容は主に「港湾施設」「プラント施設」「土木・建築」「洋上施設」「船舶・車両・産業機械」「原子力設備」の構造設計・構造解析および各種シミュレーション解析を実施しています。 港湾施設では全国の公共インフラ施設ならびに民間施設の荷役栈橋等の設計・解析を実施しています。

3 側 面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓環境 □社会 ✓経済	有給休暇の所得率向上を高め、ワークライフバランスの確保が出来るよう継続的に支援する	有給休暇所得率 【現状】72% 【目標】90%以上
□環境 ✓社会 ✓経済	合理化、生産性向上による時間外労働時間を短縮する。	月平均時間外労働時間 【現状】23時間 【目標】15時間
□環境 ✓社会 ✓経済	ダイバーシティ推進のために女性・外国籍・障がい者等の雇用を拡大する。	【現状】21名 【目標】40名以上

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人 権 ・ 労 働	1【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	社内規定において、各種ハラスメントに対する具体的な懲戒、苦情相談窓口を整備し、確認している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	2【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	社内規定において、各種ハラスメントに対する具体的な懲戒、苦情相談窓口を整備している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	3【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	時間外労働状況を共有するとともに、管理職者で毎週の定例会議において、長時間労働の防止を徹底している								8.5 8.8									
	4【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	外国人労働者との定期面談を行い、差別や人権侵害の有無を確認している				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	5【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	社内規定において、職場における衛生的で快適な作業環境の形成を促進することを整備している			3					8									
	6【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	毎月、選定した人員に対して保健師による面談を実施している。また、年1回のストレスチェック診断により対策している			3														
	7【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	多様な人材が活躍できるよう勤務時間の選択制やテレワーク制を取り入れている					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	8【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	能力に応じた社内勉強会を定期的に開催している。また、社内規定において資格取得を推奨している				4	5.5			8	9								
	9【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している						5.5			8.5		10.2 10.3							
	10【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	全社員への健康診断、ストレスチェック診断を行っており、高ストレス者には、保健師による面談を実施している			3					8									
環 境	11【3 Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3 R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	資料の両面印刷、社内廃棄物の分別に取り組んでいる											11.6	12.4 12.5		14.1			
	12【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	照明のLED製品使用による効率化、使用電力量の把握をしている							7.3						13				
	13【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている								7.2 7.3					12.4	13.3				
	14【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3					11.6	12.4					

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している							6.6									15		
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している			3.9				6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している													12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる								7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している			3.9										12.4					
22	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	品質管理マニュアルを制定し、実施している									9								
23	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる							6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	社是に「社会の安心を創る」を掲げ、社会資本整備の一助となるよう取り組んでいる	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している					4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	エンジニアリングを通じて地域へ社会貢献活動に取り組んでいる				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9		11	12	13				

令和 7 年 6 月 30 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	東京都台東区柳橋 2-19-6 柳橋ファーストビル
名称：	CRESS FEED 株式会社
代表者：	代表取締役社長 津田 真二
登録年月日：	令和 6 年 6 月 28 日

みなとSDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 ✓経済	有給休暇の所得率向上を高め、ワークライフバランスの確保が出来るよう継続的に支援する	有給休暇所得率 【現状】 72 % 【目標】 90 %以上	79 % (2025 年 3 月 31 日現在)
□環境 ✓社会 ✓経済	合理化、生産性向上による時間外労働時間を短縮する。	月平均時間外労働時間 【現状】 23 時間 【目標】 15 時間	23 時間 (2024 年 6 月～2025 年 5 月の平均)
□環境 ✓社会 ✓経済	ダイバーシティ推進のために女性・外国籍・障がい者等の雇用を拡大する。	【現状】 21 名 【目標】 40 名以上	21 名 (2025 年 6 月 1 日現在)